

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和4年 2 月 8 日

事業所名：feel西明石

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育スペースの確保と密を避けるために2階では3部屋に分かれて活動し、2階3部屋をその日の人数や活動内容によって部屋を区切ったり、広く使ったりしています。コロナ感染状況を踏まえて秋以降は1階も利用して療育を行っています。	はい76% どちらともいえない3% いいえ わからない21% 密を避けるために1階も療育活動とても良いと思います。 空間を確保するのは難しいかとは思いますが、スペースは少ないかなと思います。子供達同士がストレスを感じてしまうのではと思った事があります。	コロナ感染状況を踏まえて、引き続き療育スペースの確保と密を避けるために1階も利用して分かれて療育を行っています。 保護者様からのご要望がある場合はご利用時間を区切ったの療育活動も考えております。
	2 職員の適切な配置	職員の人数や資格については、ホームページでも紹介していますが、職員は、常時5人以上配置されており、全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員)。	はい93% どちらともいえない いいえ わからない7% 心理士さんはじめ、ほかの児発に比べて専門性の高い支援をされていると感じる資格のある先生方がほとんどいらっしゃる印象があります。	各施設での情報共有やオンラインでの月1回以上の研修で専門性の向上に取り組んでおります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関等の段差については借家のため、改修が難しいですが、子どもへの分かりやすい支援として、子どもの特性に応じて、絵カード等の視覚支援やICT(パソコン・IPAD)の活用、スケジュール化等を行っています。玩具の置き場所が分かるように写真を貼り片付けしやすくしたり、切り換えや見通しが持てたりするように事前予告の声かけやタイマーを使用しています。	はい83% どちらともいえない いいえ わからない17% 写真を貼ったりわかりやすく良いと思います。	子どもたちの生活動線を考えて自分のできるよう、環境設定に取り組んでいます。その都度、職員間で話し合い、子どもたちが活動しやすくなるよう環境の整備や調整をしています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	小さい窓は常に開け、感染予防に努めています。 夏はサーキュレーターを使用して換気に留意しています。 熱中症や脱水症状にならないように、一年を通してお子さんに水分補給を促しています。 緊急事態宣言中、お子さんが使用した玩具や教材はその都度アルコール消毒してから次のお子さんが使用するように徹底しております。現在は午前と午後の療育後に使用した玩具や教材のアルコール消毒の徹底と、部屋やトイレの塩素系洗剤での掃除とその後のアルコール消毒を実施しております。	はい86% どちらともいえない いいえ わからない14%	年2回の大掃除と毎日の清掃を行っています。 お子さんが清潔で心地よく安心して過ごせるように継続して掃除や環境を整えていきたいと思っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。		継続して取り組んでまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換しながら業務改善を図っています。		継続して取り組んでまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	スタッフの専門性を高めるために学期ごとに1回の内部研修を行っています。内部研修では、WISC-IV知能検査や虐待予防、算数のつまずき、保育所等訪問、障害告知、カウンセリング不登校の対応、継次処理と同時処理、カウンセリング等を行っています。外部研修は、感覚運動遊びと身体作りや非行、ペアレントトレーニング、境界線知能の子どもへの対応、関係構築等を受けており、日々研鑽しています。		継続して取り組んでまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	新版K式発達検査、WISC-IV知能検査、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。お子さんご本人の願いや将来への思い、保護者の方の願いに即して作成させていただいています。モニタリングで保護者の方とお話する機会を設けています。また必要に応じてカウンセリング(事業所内相談支援)をご利用して頂いています。	はい90% どちらともいえない4% いいえ わからない7%	継続して取り組んでまいります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別でお友だちとの関わり方やあそび方の練習を行ったり、先にことは音楽療法を支援員としてから小集団活動の中でも実践していくなど、個別と集団が連動するような療育も行っていきます。		継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月～6カ月でお子さんが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要かについて記載し、作成させていただいています。	はい93% どちらともいえない いいえ わからない7% 具体的に計画が記してあるので分かりやすいです。	継続して取り組んでまいります。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って日々の活動内容を検討し、支援計画以外でも必要と感じる項目は、お子さん・保護者の方と相談しながら療育のプログラムに入れるようにしています。月初めにお子さん一人ひとりについて、児童発達支援計画の短期目標に沿った月の目標を立てさせていただき、職員間での話し合いを実施しております。	はい90% どちらともいえない いいえ わからない10%	継続して取り組んでまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	SST、制作、運動(ビジョントレーニング)、音楽を使ったことばや英語のプログラムについて2名程度のスタッフでチームを組んで立案し、立案したものをミーティングの中でも話し合いをしています。運動遊びで行った活動を個別療育でも取り組んでいます。小集団活動の前に個別で前もって取り組むことで、自信を持って小集団活動に参加ができるように工夫しています。		継続して取り組んでまいります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園に通いながらご利用されているご家庭で、ご希望があれば、長期休暇中は午前中にご利用できるように対応させていただいております。		継続して取り組んでまいります。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	小集団活動では、2週間ごとにプログラムを変更し、SST、うんどうあそび、ことば・えいご音楽などの活動を行っています。2週目はアレンジをして行っています。繰り返しを重視して、計画したプログラムでもその日のお子さんの様子に合わせて柔軟に参加しやすくなるよう工夫しています。個別療育では、お子さんの発達段階に合わせて、興味のあることなどを取り入れ、お子さんと保護者の方からのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。お子さんの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて日々実施しています。	はい90% どちらともいえない いいえ わからない10% 子供が飽きないように様々な課題をさせて下さっていると思います。	継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	週のはじめに各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフで共有したり、ロールプレイや話し合いを行ったりして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。	継続して取り組んでまいります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	業務終了後にミーティングで振り返りを行い、小集団活動のプログラムについて良かった点や反省点を話し合っています。業務日誌で情報を共有しています。	継続して取り組んでまいります。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを記載しています。ミーティングを通して、気になったことや良かった支援などを話し合い、良かった支援はスタッフで共有して継続しています。保護者様からのご相談等も記録させていただき、支援等に繋げています。	継続して取り組んでまいります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	支援計画の見直しのために、半年ごとに保護者様へ個別アンケートを行い、アンケートの内容やモニタリングを踏まえて、ミーティングで職員間で話し合いを行ない支援計画を見直しております。	継続して取り組んでまいります。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	日程調整ができた際は、児童発達管理責任者、個別担当者が出席して情報共有や役割分担について話し合っています。	継続して取り組んでまいります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なお子さんにご利用されていませんが、保護者の方のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。	継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要なお子さんにご利用されていませんが、お子さんが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関(あだちこども診療所:加古川)と情報提供・共有をさせていただいています。		継続して取り組んでまいります。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	お子さんが通われている保育所や幼稚園の担任の先生と必要に応じて支援方針や対応について情報共有させていただいたり、訪問活動を通じてより細かな支援に繋げていけるように働きかけています。		継続して取り組んでまいります。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業後に、障害福祉サービス事業所をご利用の方がこれまでにおられなかったのですが、今後もしご利用の方がおられましたら、必要に応じて情報提供・共有ができましたらと思っています。		継続して取り組んでまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが学会、LDセンター等の専門機関での研修を受けています。		継続して取り組んでまいります。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は交流する機会がありませんでした。	はい38% どちらともいえない10% いいえ7% わからない45% 健常の子と活動する中で、対応が難しい所もありますが、健常のお子さんから吸収していることも多いと感じます。	新型コロナウイルス感染症が落ち着いた際には、交流できる機会が作れるように検討しております。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所前の清掃活動時やお散歩等でご挨拶する際に地域の方とお話をさせていただくことで、どのような事業所かを知ってもらい、ご相談しやすくなるよう努めています。		継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初の契約時に支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	はい93% どちらともいえない3.5% いいえ わからない3.5%	継続して取り組んでまいります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有し、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。	はい93% どちらともいえない3.5% いいえ わからない3.5%	継続して取り組んでまいります。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者向けに学期ごとに1回、計3回のペアレントトレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけ作りや進路の見通しや、園などへのお子さんの情報共有や話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。今年度はすべてZOOMで開催させていただきました。	はい76% どちらともいえない いいえ わからない24% 知りたいこと、興味のあるテーマで研修してくださるのでありがたいです。	継続して取り組んでまいります。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育での状況や課題はスケジュールに記載してファイルに挟んでお渡ししたり、取り組まれた課題を一度ご家庭に持ち帰ったりして頂いております。 小集団の様子は連絡帳に記載したり、ブログで配信したりしてお伝えしています。 お子さんの対応や学校との連携については、随時お時間をとらせていただき相談させていただいています。	はい90% どちらともいえない7% いいえ わからない3% 日々の連絡帳やカウンセリングから、子供の課題を見つけて、すぐに取り組んで下さっているのありがたいです。	継続して取り組んでまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時、ご相談に応じたり、気になることや嬉しかったことがあった場合にはこちらからも保護者の方に声をかけてfeelでの様子をお伝えしたり、うまくいった支援などもお伝えしています。 ご希望の方には継続したカウンセリングも行っています。	はい79% どちらともいえない10.5% いいえ わからない10.5% 迷ったり悩んだりした時に、相談できる場があるという安心感があります。	継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	学期に1回は保護者交流会や勉強会を開催し、平日だけでなく土曜日にも開催することで出席していただきやすくなるようにしたり、早めにご案内を配布したりしています。研修後に、保護者交流会を続けて行い、普段のお子さんとの関わりで気になることや上手くいった対応等についてお話いただいています。	はい59% どちらともいえない17% いいえ わからない24% 私が入見知りな事もあり、なかなか参加できていませんが、機会があれば参加したいと思っています。	継続して取り組んでまいります。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情相談の担当者や事業所以外での窓口についても説明しています。普段から気になったことを相談しやすいような関係づくりを行っていきたくと思っています。	はい52% どちらともいえない3% いいえ わからない45% 全く苦情ではないですが、以前、子どもが玄関チャイムに手が届かず痙攣を起こしているのをご覧になったあと、次の回から、玄関に踏み台を用意して下さって、嬉しかったです。このように、何かトラブルがあると、いつも迅速に対応して下さるので、信頼しています。	継続して取り組んでまいります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子さんや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にしています。行き違いがないよう、お電話や直接お話をさせていただいた内容を改めてメモやメール等でお伝えすることを心掛けています。お子さんの特性によって、文字を紙に書いたり、絵で表したり、大事な話を先にしたり、何回かに分けてお伝えしたりしています。	はい86% どちらともいえない4% いいえ わからない10% 連絡帳に詳しく書いてくださるので、様子が良くわかります。	継続して取り組んでまいります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要は毎週土曜日に玄関掲示とブログにもアップしています。行事やアンケートがあるときはLINE等配信しています。	はい83% どちらともいえない7% いいえ わからない10%	継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時の個人情報についてのアンケートをもとに、玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。またご利用の方の個人情報は閉所後や長期休暇中に施錠をして保管しています。スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守するよう説明しています。スタッフには雇用契約の際に個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っております。	はい86% どちらともいえない いいえ わからない14%	継続して取り組んでまいります。
非常時等の対	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。感染症についてはマニュアルに基づいて対応を考えています。各マニュアルはどなたでも閲覧・確認していただけるようにホームページにて記載しております。	はい90% どちらともいえない いいえ わからない10%	継続して取り組んでまいります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応や避難訓練を実施し、水やお菓子の備蓄をしています。避難訓練は、学期ごとに1回以上実施しています。避難先でスムーズに保護者の方へ引き渡しができる様、保護者の方の電話番号、住所の書かれた紙を非常食とともに非常カバンの中に入れてあります。緊急で薬が必要な方は個人ファイルに保管しています。	はい79% どちらともいえない いいえ わからない21%	継続して取り組んでまいります。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新人スタッフ、継続スタッフそれぞれに虐待防止の研修を行ったり、毎日のミーティングの中で子どもへの対応について話し合ったりしています。虐待防止委員会を年2回設け、職員間で話し合いを行っております。		継続して取り組んでまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		継続して取り組んでまいります。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		継続して取り組んでまいります。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ご利用されるお子さんが安全に過ごせるように、環境面、玩具の使用、関わり方についてその都度ミーティング等で対応を協議し、ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。また、大久保・小久保・小久保Ⅱにも個人情報を伏せて情報共有を行い、再発防止に努めています。	継続して取り組んでまいります。

・保育所に行きたがらない日があっても、feelは絶対行きたがります。
→一日10人までの少人数の施設ですので、小集団でやってみて、できた経験を重ねて、次に繋げていけるように支援しています。

・行く時は嫌がる事もあります。意思を伝えるのが難しいため、何故嫌なのか良くわかりません
→お家で楽しみがあったり、遊びたかったりする時もあるかと思いますが、思いを汲み、気持ちを切り替えて楽しく過ごせるように心掛けています。

・いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

・いつも息子が楽しそうに通ってて感謝してます。ありがとうございます。来年も宜しくお願いします。
→お子さんの得意なこと、好きなことから遊びの中で発達課題に取り組んでいます。「やってみたい。」「やってみたらできた。」「たのしい。」という体験をたくさん積み重ねて、大好きな場所になってくだされば嬉しいです。

(子どもは通所を楽しみにしているか)
はい93% どちらともいえない いいえ わからない7%

(事業所の支援に満足しているか)
はい93% どちらともいえない3.5% いいえ わからない3.5%